

## 植物に癒された経験から故郷・宇陀の大和当帰の魅力伝える

大和かぎろひ 奈良県生駒市

### ■自身の経験から癒しを届けるサロンをオープン

奈良県生駒市にてアロマセラピーサロン・スクール「Neroli（ネロリ）」を運営する西田奈々氏は、第二子出産に向けた不妊治療をきっかけにアロマセラピー（植物から採取される精油を使った「芳香療法」）に出会う。さまざまな自然療法を試す中で、「自身の心と身体を一番癒してくれたものがアロマセラピーだった」という。

アロマセラピーで癒された西田氏は、悩みを話したり、マッサージを受けることでリラックスできる場所を提供したいと思い、2011年にサロン「Neroli」をオープン。サロンに通う人々の声から「家族のためにアロマを活用したい」「資格を取って仕事にしたい」との声が多くなり、2016年にはアロマスクールを開校した。

### ■故郷・宇陀市にて大和当帰の栽培を始める

古くから薬草の産地として知られる奈良県宇陀市出身の西田氏。サロンを運営する中で、同市で栽培される大和当帰に着目する。大和当帰は、主に血流促進や冷え症の改善、補血作用などに効果があるとされており、婦人薬として重宝されてきた。しかし、大和当帰の精油はほとんど流通しておらず、西田氏は自身で栽培することを決意する。

宇陀市の祖父の畑で栽培を始めたが、大和当帰は最初に葉を採取できるまで最低2年の栽培期間を要し手間がかかる。さらに、大和当帰の葉は油が少なく蒸留しても精油がほとんどとれず、1mlの精油を採取するのに2~4kgもの葉が必要となる。刈り取る季節や日照時間によって葉の油の量が変わるので、必要な葉の量は毎年異なるという。それでも西田氏は「植物も健康でいるために、日々の環境に合わせて色々工夫しながら育てている。植物って面白いしすごい」と成長を楽しんでいる。

### ■大和当帰葉商品「大和かぎろひ」の販売を開始

最初は一人で試行錯誤していたが、4~5年が過ぎるころには周りの人や行政の助けもあり、徐々に商品化できるようになった。2019年4月、西田氏は「大和かぎろひ」というブランドを立ち上げ、精油、フレグランス「kagiroi」、入浴用乾燥葉、お茶、大和当帰葉を練り込んだそうめんなどの大和当帰葉をはじめとする薬草やハーブ商品を販売している。

ブランド名の「かぎろひ」は、日の出の約1時間前に見られる現象で、冬の澄み切った空が藍色から青、オレンジへと変化していく光景のこと。柿本人麻呂が宇陀で詠んだ歌でも有名である。「かぎろひの光景を輝かしい未来が待っている様子と重ね、女性を応援する活動ができれば」という願いを込めて名付けられた。

「コロナ禍が人と触れ合う大切さを再認識させてくれた。宇陀の自然を宿した商品・サービスが東の空に夜明けを告げるかぎろひのように、人それぞれの中にある健やかな暮らしへの道しるべになってほしい」と西田氏は話す。

(八木陽子、村井 渚)



サロンメニューのハーブテント。身体が温まると人気（左）、「大和かぎろひ」の商品、精油、フレグランス、入浴用乾燥葉、大和当帰茶（右）

### 大和かぎろひ

アロマセラピーサロン・スクール「Neroli」

〒630-0134  
奈良県生駒市あすか野北  
TEL: 090-1023-4924  
Mail: nananeroli7@gmail.com  
URL: <https://www.yamatokagiroi.com>  
<https://aroma-neroli.net>



西田奈々氏